

建設産業は豊かな暮らしを支える

住み良い国土づくりに向けて、

大きな役割を担っています。

社会資本の整備が急がれます。

欧米諸国と日本の社会資本

明治維新により、近代国家への第一歩を踏み出してから今日までの100年余の歴史の中で、我国の社会資本整備のあり方は、その時代、時代の経済、社会的な背景により、様々の変化をしながらも、経済活動に占める投資額は着実に増大してきました。特に戦後は欧米を遙かに上まわるスピードで住宅・社会資本整備に力が注がれてきました。しかしながら、住宅、道路、公園、下水道を社会的な生活水準として、我国の住宅・社会資本整備の現状を私人的生活水準の面とあわせて欧米諸国と比較してみると、我国の自然条件、社会条件、又、社会資本が担うべき役割等には他の国々とは相違があり、単純には云えないものの、私人的生活水準の充実ぶりに比べて社会的な生活水準が、立ち遅れている状況は容易にわかります。又、住宅・社会資本整備の相対的立ち遅れの他に美観・周辺環境との調和といった面での不充分さが今日指摘されるようになってきました。

生活水準の推移と国際比較

●生活水準の推移



(注)1. 原データ：日本銀行「国際比較統計」
「外国経済統計年報」、総務庁「国際統計要覧」
2. 円の半径は、日本、アメリカ、イギリス、西ドイツ、フランスの5ヶ国平均。数字は、平均を100とした場合の指数を表わす。

欧米諸国に比べ戦後我国の私人的生活水準は大きく伸びたが、社会的な生活水準の遅れが目立ちます。下水道等の整備はまだ大いに立ち遅れており、中でも豊かな環境創りの公園に至っては著しく遅れています。

●住宅・社会資本整備水準の国際比較

	日本	イギリス	西ドイツ	フランス	アメリカ
下水道	総人口普及率 (%) 34 (1984)	97 (1976)	91 (1983)	65 (1975)	72 (1979)
都市公園	1人あたり面積 (㎡/人) 2.2 (1985)	30.4 (1976)	37.4 (1984)	12.2 (1984)	19.2 (1977)
自動車1台あたり舗装延長 (m/台)	13.7 (1982)	18.5 (1982)	18.7 (1982)	31.9 (1982)	33.0 (1981)
都市における道路面積率 (%)	13.6 (1985)	16.6 (1983)	— (1983)	20.0 (1983)	23.2 (1980)
1自動車10,000台あたり高速道路延長 (km/万台)	0.8 (1985)	1.6 (1983)	3.2 (1983)	2.6 (1983)	4.3 (1980)
住宅	1人あたり平均室数 (室/人) 1.4 (1983)	2.0 (1981)	1.7 (1978)	1.3 (1978)	2.0 (1979)

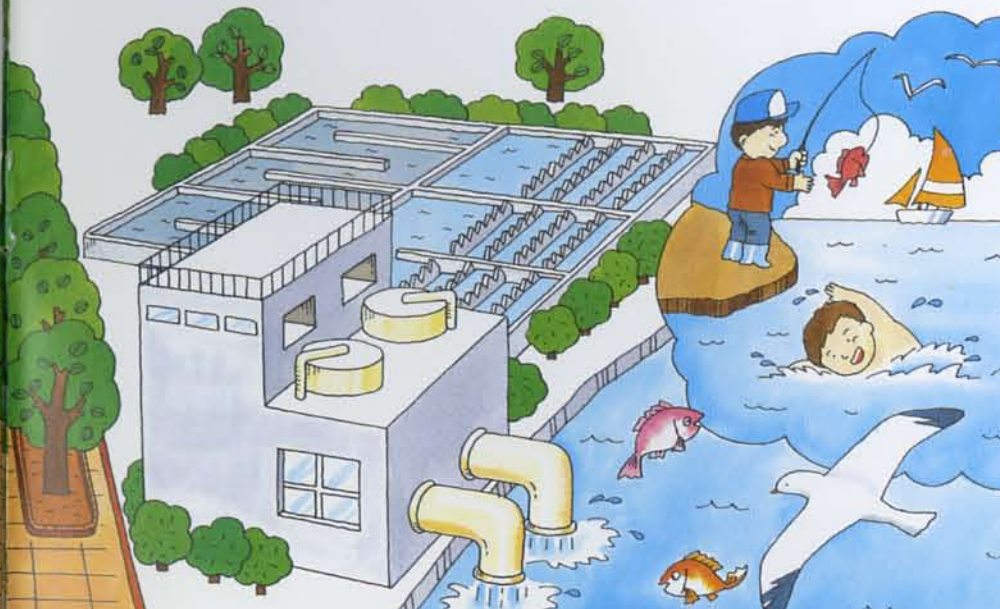
これからの住宅・社会資本整備

我国の、世界に前例のない高齢化社会への進展過程は、今後経済、社会へのあらゆる面に大きな影響を及ぼすものと予想されます。現在総人口の10%強の65才以上人口は21世紀初頭には20%を越える水準になるものと予測されており、このために貯蓄率が低下する事による投資への影響、住宅・社会資本ストックの増加に伴う必然的な維持更新費の増大、又高度成長期に蓄積されたストックが次々と更新期を迎える事もあり、これ等が住宅・社会資本の新規投資に影響を及ぼす事が予想されます。そこで高い貯蓄率が維持され労働力人口等が相対的に恵まれている経済環境下にある現在にこそ21世紀に生きる人々に安全、快適で活力を維持できる安定した国土基盤を引き継げるよう質的に優れた住宅・社会資本の計画的な蓄積が望まれます。

昭和75年(21世紀)を目途にした住宅・社会資本整備目標

事業名	現状(59年度末見込み)	昭和75年を目途とした主な整備目標(建設省)
下水道	総人口普及率 34%	概ね90%をめざし、特に市街化区域において概成を図る。
道路	高速自動車国道延長 3,500km	7,600kmの概成を図る。さらに、高規格幹線道路網の整備を推進する。
	歩道整備済道路延長 80,000km	236,000kmをめざし、整備を推進する。
都市公園	都市計画人口1人あたり面積 4.7(㎡/人)	20.0㎡/人をめざし、概ね倍増を図る。
治水	大河川(戦後最大洪水に対応する整備率) 59%	概成。さらに、1/100~1/200確率の洪水対応を目標として整備を推進する。
	都市河川(時間雨量50mmに対応する整備率) 41%	概成。さらに、時間雨量80mm相当の降雨対応を目標として整備を推進する。
住宅	居住水準 85.9(㎡/戸)	誘導居住水準(例、4人世帯の場合、都市型91㎡、一般型123㎡)を半数が確保することをめざし、住宅規模の拡大、性能設備等、質の充実を図る。

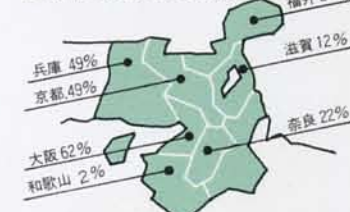
社会資本の整備 No.1 下水道編 ●下水道は私たちの快適な生活を支えている大切な施設です。



■下水道整備計画の進捗状況



■近畿の下水道普及状況



下水道普及率 = $\frac{\text{処理人口}}{\text{都道府県人口}} \times 100$